

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分
感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2024年								2025年										
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月 ～7日
カンピロバクター	50	39	41	50	50	37	36	18	14	38	22	23	36	38	43	27	27	24	6
病原性大腸菌	76	83	70	86	49	46	33	23	107	90	91	71	93	78	97	83	48	44	9
腸管出血性大腸菌	2	1	6	2	0	1	1	0	0	1	0	2	3	3	2	0	1	0	0
サルモネラ	8	12	29	13	12	7	6	1	3	8	3	6	11	12	11	11	1	0	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	21	11	17	24	5	6	4	14	15	6	8	9	16	8	28	10	20	7	1
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	8	6	21	12	8	13	9	9	14	13	9	11	5	16	10	10	4	3
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
その他	3	1	5	1	2	0	1	0	3	2	1	1	1	2	2	2	1	0	0
ロタウイルス	1	0	0	0	0	0	0	2	8	9	10	1	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	0	1	0	0	1	3	4	4	2	1	1	0	0	0	3	0
ノロウイルス	0	1	1	1	0	0	0	0	11	37	10	6	2	2	0	3	0	0	0

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC)
感染症週報

令和7年第49週(12月1日～12月7日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	10	結核	10	4	1	1		3		1
三類	3	腸管出血性大腸菌感染症	3							3
四類	2	マラリア	1		1					
		レジオネラ症	1						1	
五類	22	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					1		
		侵襲性肺炎球菌感染症	2					1	1	
		水痘(入院例)	1					1		
		麻疹	1	1						
		梅毒	2		1					1
		百日咳	15	1	3	1		4		6

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
北部…三次市、庄原市● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

週報③

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター 広島市感染症週報

令和 7年49週(12月1日～12月7日)

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり43.71人の報告があり、多い状況が続いています。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の報告は64件と増加が続いています。手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
第49週 A型:282人、B型:3人

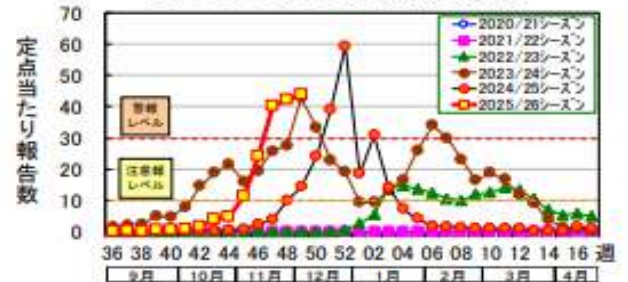
2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり3.91人の報告があり、多い状況が続いています。感染経路は、飛沫感染、接触感染です。手洗い、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

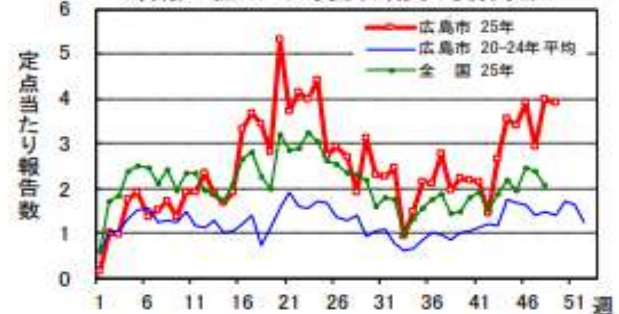
3 マイコプラズマ肺炎

定点当たり2.17人の報告があり、前週と比べて減少しましたが、多い状況です。手洗いの励行、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

インフルエンザの流行状況(広島市)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	3088	88.23		→	小児科	突発性発しん	4	0.18	0.24	
	インフルエンザ	1530	43.71	11.40	→		ヘルパンギーナ	1	0.05	0.34	
	新型コロナウイルス(COVID-19)	19	0.54		→		流行性耳下腺炎	2	0.09	0.03	
小児科	RSウイルス感染症	11	0.50	0.08		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	咽頭結膜熱	6	0.27	1.56			流行性角結膜炎	13	1.63	0.70	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	86	3.91	1.40	→	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	76	3.45	4.68	→		無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	水痘	5	0.23	0.19			マイコプラズマ肺炎	13	2.17	1.20	↓
	手足口病	4	0.18	1.19			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	8	0.36	0.02			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減 ↑ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 → 前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減

微増減 ⇐ 前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減

横ばい ⇨ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI) 定点数(内科・小児科)	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	108	20歳代・推定感染地域: 国外、60歳代、70歳代
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	16	80歳代
5	侵袭性肺炎球菌感染症	1	27	80歳代
5	水痘(入院例に限る)	1	5	30歳代
5	百日咳	4	1024	20歳代・2人、30歳代・1人、60歳代・1人